

整理番号	02-0996
区分 (事務局記入欄)	■臨床研究(□受託・共同 ■院内) □その他 □医薬品 □医療機器 ■その他

医学研究に関する情報公開文書

西暦 2025年 3月 31日

研究課題名	神経疾患における PADRE を用いた鉄沈着の研究
研究実施期間	開始 西暦 2025年 4月 9日 ~ 終了 西暦 2030年 3月 31日 (予定)
研究の対象となる方 (予定症例数)	2025年4月7日~2030年3月31日で脳神経内科を受診し、神経疾患の疑いで MRI 検査の PADRE による精査を受けた方。 (予定症例数: 約 250 例)
研究の目的・方法	様々な神経疾患の発症に鉄の調節障害が関与するとされており、実際多くの神経疾患で病変部などでの鉄沈着が確認されている。鉄沈着の検出には MRI が有用であるが、当院の MRI では位相差強調画像法(phase difference enhanced imaging: PADRE)での撮像が可能で、従来の方法に比較して、鉄沈着の高度な可視化や定量化に有効であるとされている。そこで本研究では鉄沈着に注目して PADRE の画像の収集および臨床経過及び診療録をもとに前向きに解析を行うことで、診断能の向上ならびに治療につながりうる新たな知見を得ることを目的とする。
研究に用いる試料・情報の種類	MRI 画像 情報: 年齢、性別、病歴、既往歴、理学所見、神経学的所見、各疾患の臨床スコア 等のカルテ情報 (以下は診療上必要な検査として受けた場合に、解析対象に含めることがある) 検査: CT 検査、核医学検査、呼吸機能検査 等 資料: 血液、髄液 等
問い合わせ先	<ul style="list-style-type: none">・本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。・ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。・また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 <p>地方独立行政法人市立東大阪医療センター 研究責任者: 脳神経内科 医長 白石 直之 住所: 大阪府東大阪市西岩田三丁目 4 番 5 号 TEL: 06-6781-5101</p>